

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 藤原観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市営浴場「川治温泉薬師の湯」・川治温泉薬師の湯キャンプ場						
	所在地	日光市川治温泉川治277番地						
指定管理者	名称	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会						
	代表者名	代表理事 関本 昭						
	住所	日光市川治温泉川治22番地						
指定期間		令和4年4月1日			～	令和7年3月31日	3	年間
選定方法		非公募		評価実施年		3 年間のうち 3 年目		
施設設置目的		市民の保養と健康増進を図り、かつ、観光事業の振興を図ることを目的とする。						
主な実施事業		温泉入浴施設事業及びキャンプ場運営						

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		目標		実績	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績				
a	利用者数	人	25,000	21,884	23,760	20,728	19,800	26,509				
b	清掃を行う		毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日				
c	電気料の削減		10%削減	10%削減	10%削減	10%削減	10%削減	10%削減				
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度		
収入計 A		22,042,577	19,499,687	23,215,111	0	0
	指定管理料	0	0	0		
	利用料収入 C	8,298,750	7,837,250	10,086,050		
	自主事業収入	409,556	345,065	429,700		
	その他	13,334,271	11,317,372	12,699,361		
支出計 B		20,969,905	19,624,840	22,735,817	0	0
	指定事業費	20,896,175	19,538,510	22,613,907		
	内人件費 D	5,483,322	5,637,885	6,070,062		
	内外部委託費 E	1,897,000	1,897,000	2,045,832		
	自主事業費	73,730	86,330	121,910		
事業収支 A-B		1,072,672	-125,153	479,294	0	0
人件費率 D/B		26.15%	28.73%	26.70%	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		9.05%	9.67%	9.00%	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

「バスタオル」のレンタルを継続し、利用客の便宜を図り収入増につなげた。
キャンプ場のトイレは不足しているが、利用者が多いときについては、薬師の湯のトイレを、朝6時から開放して対応することにした。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
	市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
	緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B	B
② サービスの 質の 評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
	環境配慮	協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
		環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	C	B
苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
	要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B	
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価)			
	サービスの履行は、協定等を遵守した管理ができた。			
	サービスの質は、ホームページの管理が出来なかった。利用実績は目標に達成した。			
	安定性は、収支状況を改善することができた。			
	(所管課評価)			
	業師の湯及びキャンプ場両施設を指定管理施設で運営、特に業師の湯は利用者目標値を大幅に上回った。今後に期待する。			
施設ホームページを作成し、情報発信をすることで、特に業師の湯に対する誘客宣伝に力を入れて欲しい。				
前年度総合評価		B(良好)	総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A(優良)	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	=	A、C以外
	C(要改善)	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。